

今回の紹介地区 No.029 大阪府 能勢町 ^{しお}地黄(歌丸)地区

耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例

状況

地区概要 : 農地面積 2.3ha、うち耕作放棄地 0.29ha
 放棄の理由 : シカ、イノシシ等の有害鳥獣による被害が大きく、その影響により山際の農地から遊休化が進行
 荒廃の程度 : 灌木の伐採、除根、深耕、整地が必要

取組概要

対象面積 : 0.29ha(畑)
 実施期間 : 平成21年9月～11月
 取組のきっかけ : 府協議会及び地域協議会等が農業者及び集落営農組織等を対象に本制度の説明・PRを随時行ったところ、本取組主体から事業の応募があり実施に至った
 調整経緯 : 府協議会及び地域協議会が、地権者と利用者との調整を行った
 取組主体 : 農家等で構成する任意団体(地黄遊休田対策委員会)(予定作物:野菜等)
 作業内容 : 灌木の伐採、除根、深耕、整地等(草刈りは厚労省の緊急雇用対策で実施)

今後の予定

再生農地は農地保有合理化法人による利用権調整の手続きを経て、2月から作付け準備の作業を開始する予定



再生作業前



再生作業実施中



再生作業後